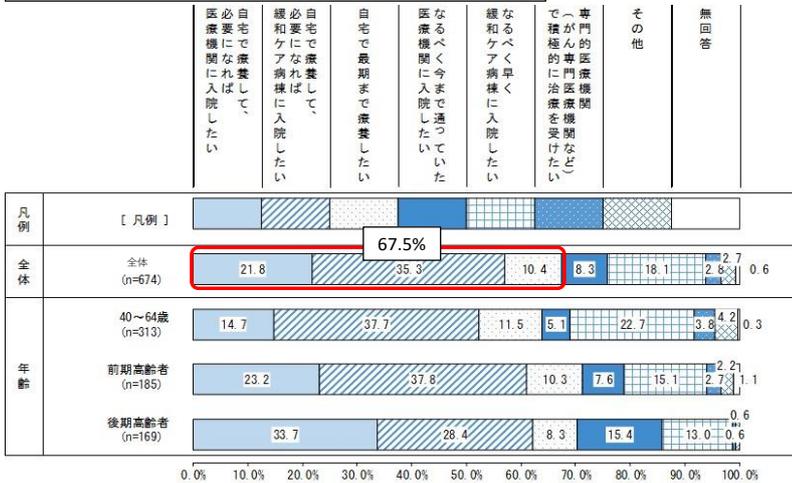


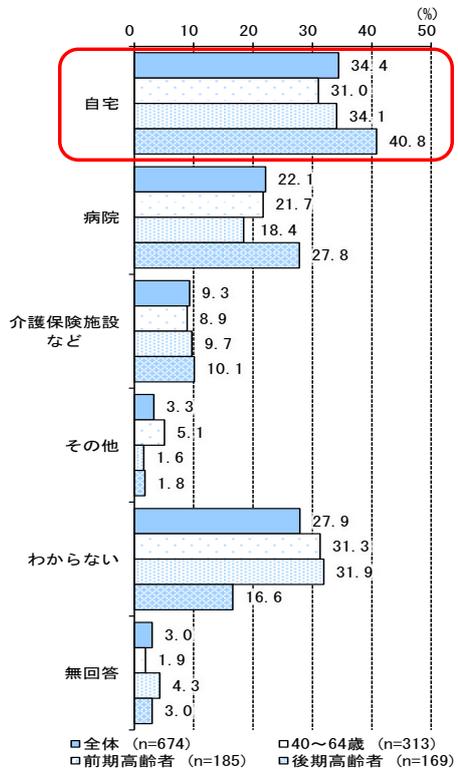
令和4年度
守山市在宅療養・看取りに関する意識調査結果報告書（一部抜粋）

問 ターミナルケアについての考え方について



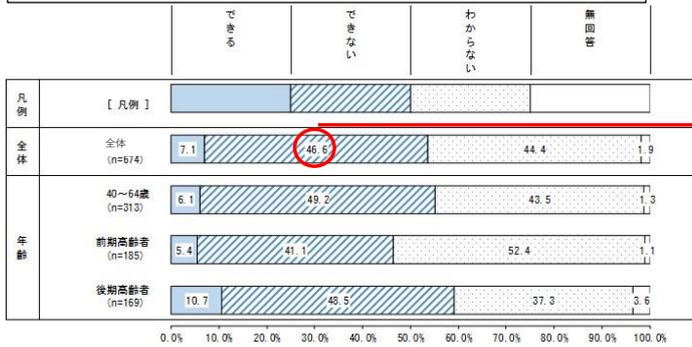
「自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい」の割合が35.3%で最も高く、「自宅で療養して、必要になれば医療機関に入院したい」「自宅で最期まで療養したい」を加えた自宅療養を希望する割合は67.5%となっている。

問 人生の最期を迎えたい場所について



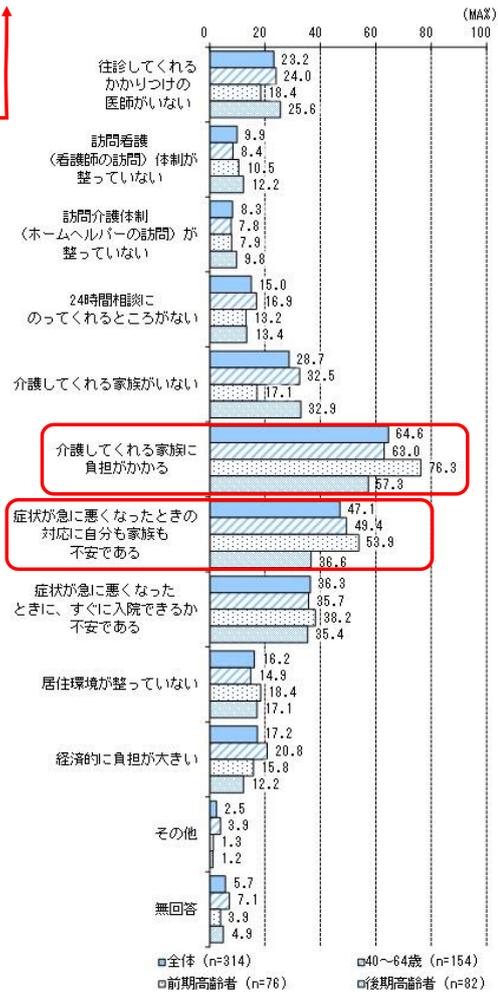
人生の最期をどこで迎えたいかについて、「自宅」の割合が34.4%で最も高い。

問 あなたは、自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。

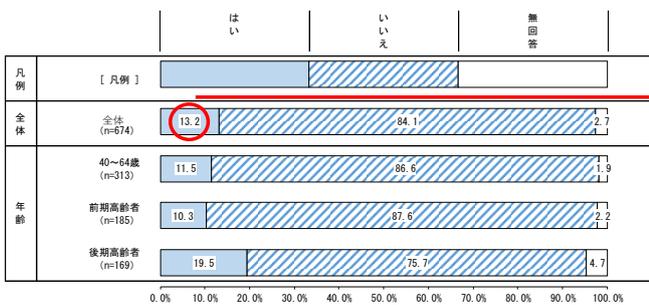


自宅で最期まで療養できるかの問いに対して46.6%の方が「できない」と回答された。
 自宅で最期まで療養できないと考える理由について、「介護してくれる家族に負担がかかる」と回答した方の割合が64.6%と最も多かった。

問 自宅で最期まで療養できない理由について



問 過去10年間で、家族の最期を自宅で看取った体験の有無



過去10年間で家族の最期を自宅で看取った体験について、13.2%の方が「はい」と回答された。
 自宅での看取り経験のある方のうち、家族を自宅で看取するために必要なことについて、「訪問介護や訪問看護の24時間対応」と回答した方の割合が41.6%であった。

問 家族を自宅で看取するために必要なことは何であったか

